

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JULY
2025
No. 124

contents

NEW STUDENT INTERVIEW

話・題・人 特集
未来創造寄付金
附属高等学校ニュース
information

CAMPUS
PRESS

長崎総合科学大学学報 No.124 2025年(令和7年)7月
編集・発行 長崎総合科学大学 入学支援センター 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-838-5131 <https://nias.ac.jp/>

Information



資料請求
受付中

大学案内
パンフレット発行!

長崎総合科学大学の2026年度入学者用の大学案内パンフレットと学生募集要項が完成しました。パンフレットは「大学案内」のほか、概要を紹介した「ダイジェストガイド」があります。お気軽に資料をご請求ください。

◎詳細は教育研究支援部 入学支援センターまたは大学ホームページ <https://nias.ac.jp/>まで

お問い合わせ先

☎0120-801-253
E-mail nyushi@nias.ac.jp

学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

特待生 A 学校推薦型選抜、一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)および 共通テスト利用選抜にて選考

対象は人物に優れ、成績上位の者。上位をA1、それに次ぐ者をA2とします。
A1は授業料の全額を免除、A2は授業料の半額を免除します。
別途、「長崎県地域枠特待生」を設けています。詳しくはお問い合わせください。
※成績不良等で取り消し有

特待生 B 総合型選抜および 外国人留学生入試にて選考

対象は、高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとするなど、特色のある者。
上位をB1、それに次ぐ者をB2とします。
B1は授業料の全額を免除、B2は授業料の半額を免除します。
※総合選抜女性枠及び外国人留学生入試はB2のみの選考になります。
※成績不良等で取り消し有

スポーツ特待生 総合選抜にて選考

対象は、スポーツにおいて優秀な成績を収め、それを本学で発揮しようとする者。
ただし、対象競技種目はサッカー。授業料の半額を免除します。
※成績不良等で取り消し有

在学生の優待制度

3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。
3年生は2年次までの成績、4年生は3年次までの成績が選考対象となります。
(3年次で優待生に採用された者も、4年次には再度選考となります)

入試日程

入試区分	出願期間	試験日
総合選抜 普通科特 専門学科特 総合学科特 女性 スポーツ特待	I 期 9/22(月)~10/3(金)	10/18(土)
	II 期 10/27(月)~11/10(月)	11/16(日)
	III 期 11/24(月・祝)~12/5(金)	12/14(日)
	IV 期 1/6(火)~1/27(火)	2/8(日)
	V 期 2/16(月)~2/27(金)	3/7(土)
	VI 期 3/2(月)~3/13(金)	3/20(金・祝)
学校推薦 一般推薦 専門、総合推薦 指定校	前期 11/3(月・祝)~11/10(月)	11/16(日)
	後期 11/24(月・祝)~12/5(金)	12/14(日)
地域枠	I 期 11/3(月・祝)~11/10(月)	11/16(日)
	II 期 11/24(月・祝)~12/5(金)	12/14(日)
	III 期 1/6(火)~1/27(火)	2/8(日)
	IV 期 2/16(月)~2/27(金)	3/7(土)
	V 期 3/2(月)~3/13(金)	3/20(金・祝)
一般選抜	I 期 1/6(火)~1/27(火)	2/7(土)・8(日)
	II 期 2/16(月)~2/27(金)	3/7(土)
	III 期 3/2(月)~3/17(火)	3/20(金・祝)
共通テスト利用選抜	I 期 1/6(火)~1/30(金)	※本学での個別試験は課しません
	II 期 2/16(月)~2/27(金)	
	III 期 3/2(月)~3/17(火)	

ひとつ先の風景へ
NiAS 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Instagram」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。

<https://www.instagram.com/n.souka.dai>

@nias

SNSでも情報発信中

本学サイトに
アクセスできます。



ニアス
NiASセミナー
出前講義、
体験学習
申込受付中



『出前講義』豊富なメニュー

本学では、大学教員が高校などに出向いていく出前講義を実施しています。生徒の皆さんに大学講義の雰囲気を感じていただき、さらに日常の授業では体験できない、より専門的な内容や最新の研究成果などについて、わかりやすくお話しするものです。



『体験学習』多彩なプログラム

高校におけるキャリア教育、進路指導の一環として、本学の施設・設備を利用した学習プログラムを準備しています。



オープンキャンパス2025

OPEN CAMPUS
7.20 日 8.24 日

時間 9:30~14:30(予定)
※受付 9:00~

場所 長崎総合科学大学
グリーンヒルキャンパス

無料送迎バス
長崎駅西口からの
送迎バスを
ご利用ください



※詳細はホームページ等でご確認ください。



工学部工学科
船舶工学コース

大久保風香さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私は幼い頃から海に興味があり、将来は海洋関係の仕事に就きたいと考えていました。本学の船舶工学コースは、実践的な教育と充実した設備が整っており、専門的な知識と技術を身につけるのに最適な環境だと感じ、志望しました。



工学部工学科
建築学コース

彌永葉さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私は坂が多い特徴的な地形を持つ長崎で学ぶことで他の地域では得られない経験ができると考えこの大学を志望しました。また、実際にその地域を見学することなどたくさん体験学習ができる点や就職に強い点がとても魅力的だと思いました。



工学部工学科
医療工学コース

丸田夏実さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私が本学を志望した理由は、臨床工学技士に興味を持っていたからです。そのため国家試験の合格率の高い大学である本学を受験しました。また、日頃の授業内容の疑問を質問できるなどのサポート面も授業を決める一つの要素となりました。大学生活では、しっかり医療の知識を身につけて社会貢献できるよう勉学に励もうと思っています。

Q.1

長崎総合科学大学を

志望した理由はなんですか？

総合情報学部総合情報学科
知能情報コース

菊地 あいなさん

本学を志望した理由は、本学独自のAIシステムプログラムを利用し、長崎県警サイバー捜査官になりたいと考えたからです。実際に学んだ事を活かして、セキュリティを自動化してヒューマンエラーをなくすソフトを作りたいと考えています。そのため、学んだことを生かし、在学中に情報処理技術者試験の資格取得を目指します。



総合情報学部総合情報学科
生命環境工学コース

山口夏輝さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私がこの大学を選んだ理由は、物理を学んでいない学生や苦手な学生のためにクラスを分けて、特別な講義を設けたりすること、誰もが物理を理解し、理系科目を学べる環境が整っている点です。また、私のコースでは、工学部医療工学コースの講義を一部選択することで、食品衛生管理者・監視員の免許取得に必要な単位を履修することができ、さらに教員免許も取得できる点も大きな魅力です。

総合情報学部総合情報学科
マネジメント工学コース

真帆さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私は将来的に、長崎の地域活性化を目指し社会に貢献したいと考え、本学を志望しました。本学のマネジメント工学コースで地域社会の問題解決やSDGsに関する専門的な知識と実践的な力を身に付け、持続可能な社会の構築に貢献することを目指します。



別科日本語研修課程
グエンクワンフアさん

TEL THONG TING (ベトナム出身)

本学の大学院を修了した姉から、この大学を紹介してもらいました。この大学は学費が安く、先生方も優しいです。また、私が学びたいコースがある点も魅力です。別科を卒業した後、この大学で経営を学び、将来はベトナムで日本料理店を営みたいと考えています。そのため、今は日本語と数学の勉強を頑張っています。

工学部工学科
機械工学コース

姫野 祥吾さん

大分県立情報科学高等学校(大分県出身)



本学のオープンキャンパスに参加した際、自動車工学実習について初めて知り、その魅力を感じました。もともと自動車に興味があり、ここでなら好きなことを深く学べると感じ、志望しました。



工学部工学科
電気電子工学コース

松尾 奈緒さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

私は本学のパワーエレクトロニクス研究室で行われているスマートハウスでの実証実験に興味があり、志望しました。また、コースを横断して学ぶことができるプログラムも魅力で、視野を広げ、創造力を高めるためにもできるだけ多くのことを学びたいです。IoTシステム技術検定など専門の力を深め、実践力を高める資格取得にも挑戦したいです。学部卒業後は大学院に進み、研究を進め、パワーエレクトロニクスの分野から社会に貢献したいと考えています。

NEW STUDENT INTERVIEW!



工学部工学科
船舶工学コース

小林 祐大さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

大学では、高校時代よりも専門的な授業や興味のある分野の授業を受講でき、学問だけでなく、部活動やサークル活動も幅広く行われており、充実した学校生活を送ることができ、仲間や友人と共に学問と部活動を両立させながら、大学生活を楽しんでいます。



工学部工学科
機械工学コース

金子 陽菜さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

入学前は男子の割合が多いと聞いていたのですが、新しい環境に馴染めるか不安でしたが、周りには明るい人が多く、コースに関係なく、たくさんの人と毎日楽しい大学生活を送れています！大学は受けた講義を自分で決められるので、学びたい分野を深く学ぶことができ、まだ慣れないこともありすが、失敗を恐れずたくさんことに挑戦していきたいです！

Q.2

入学して約2か月

長崎総合科学大学はどんな感じ



工学部工学科
医療工学コース

高比良 竜彦さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

入学当初は緊張していましたが、周囲の人たちは面白くて優しく、先生方もとても親しみやすいので、今では楽しく大学生活を送っています。ただ、履修登録のシステムでは、どの授業が自分にとって有益かを自分一人では判断しなければならなかったため、その点が難しく感じました。



総合情報学部総合情報学科
知能情報コース

水田 悠樹さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

毎日、授業やサークル活動を楽しんでいます。講義では自分の興味のある分野について詳しく学べるので、勉強がとても面白いです。また、講義の動画や資料をデータとして共有してもらえるので、復習もしやすいです。サークル活動は自分の好きな活動を同級生や先輩たちと楽しめながら励んでいます。



総合情報学部総合情報学科
マネジメント工学コース

寺崎 颯汰さん

長崎県立長崎高等学校長崎県出身

入学したときは同じ高校からの友達がいなかったので、友達ができるか心配でしたが、学部・コース関係なく交流する場を大学が用意してくれているので、友達も多くできて、楽しい大学生活を過ごすことができました。また、先輩方や先生方は、講義時間外には、とてもフレンドリーに接してくれます。



別科日本語研修課程
韓 竺 君 さん

三河市第二中学校(日本の高等学校に在籍中)

今、私は別科で日本語を勉強しています。初めは日本語で話すことや日本の生活に自信がなくて不安でしたが、先生やクラスメイトが親切に助けてくれました。授業では、日本語だけでなく日本の文化やマナーについても教えてくれます。キャンパスは緑が多く明るい雰囲気なので、毎日楽しい気持ちで通うことができます。



工学部工学科
電気電子工学コース

徳丸 泰河さん

宮崎県立宮崎高等学校長崎県出身

私は宮崎から進学したため、高校時代の友達が一人居らず、大学生活や授業、履修登録にとても不安を感じていました。しかし、入学して少し経つと友人もでき、徐々に大学生活に慣れていき、入学前の不安が嘘のように消えていきました。これからは資格取得やアルバイトなど、さまざまなことに挑戦し、大学の4年間を充実した日々にしていくと思っています。



総合情報学部総合情報学科
生命環境工学コース

遠山 愛心さん

鹿児島県立鹿児島高等学校長崎県出身

今までと環境が大きく異なり不安でしたが、コース内の仲が良かったり、他コースの友達ができたりして、とても楽しく過ごせています。履修登録の際に自分が興味のある科目を選択できることや参加したいボランティア活動などに参加できることが魅力だと思っています。また授業の空きコマに友達と話したり、勉強したりできるのも魅力です。

話題・題人 Close-up People

「社会を変える力を、未来を創る人材に。」特集

Breakthrough Prize

ブレークスルー賞

米国グーグル創業者らが設立した科学賞「ブレークスルー賞」が4月5日発表され、基礎物理学部門で、本学の工学研究科大山健教授(副学長)が日本グループの代表をつとめるALICE実験をはじめ、ATLAS 実験など4つのチームが共同で受賞

自然科学の基礎法則や仕組みを追究し、その知見を
応用して新しい科学技術を創出する

ATLAS 実験

(質量を生成する対称性の破れの
メカニズムを実証するヒッグス粒子の特性の精密測定)



下島 真 (SHIMOJIMA Makoto) 教授
総合情報学部総合情報学科 知能情報コース
専門分野: 高エネルギー物理学、素粒子実験物理学

私は2020年までATLAS実験に参加しており、シリコン飛跡検出器のR&Dやデータ収集装置の開発に携わっていました。今回ブレークスルー賞は、ATLASの5千人以上の科学者が一丸となり、ヒッグス粒子の精密測定に10年以上取り組んだ成果を評価されたもので、すべての著者が対象となった点が画期的でした。自然界は人間が作り上げたものではなく、実験を通じて調べない限り、どんな結果が得られるかは分かりません。AIに問いかけても、答えは出てきません。それがサイエンスの面白さであり、私はその魅力に引き寄せられ、多くの人が後に続いてくれることを願っています。

ALICE 実験

(最も短い距離と最も極端な条件での自然の探究)

ALICE実験では原子核同士をほぼ光の速さで衝突させて、ビッグバン直後の超高温だった頃の「宇宙のはじまり」を再現することで、宇宙と物質の成り立ちの謎を探ってきました。本学は、得意とするセンサー・電子回路・集積回路の技術によってこの研究を成功に結びつけました。あらゆる技術を駆使して自然の理解を推し進めたことが受賞につながったというのは、研究者にとって大きな励みになります。



大山 健 (OYAMA Ken) 教授
工学部工学科 電気電子工学コース
専門分野: 高エネルギー原子核実験物理学



濱垣 秀樹 (HAMAGAKI Hideki) 教授
新技術創成研究所 基礎科学部門
研究分野: 高エネルギー原子核物理実験、量子計測技術

大学院生(当時)受賞者

私はALICE実験において、センサーのデータを読み出すための電子回路の開発を担当しました。FPGA(フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ)という集積回路を用い、まるでプログラムを作成するかのよう回路を開発しました。この技術を駆使して、センサーが出力する膨大なデータを一度に処理し、圧縮するシステムを構築しました。プロジェクトは大規模であり、国際チームでの開発に挑みました。私が当時開発した電子回路やアイデアがシステムに組み込まれ、その結果として得られた成果が賞に繋がったことは、驚きとともに大変誇りに思います。



荻野 雅紀 (OGINO Masanori)
大学院工学研究科修士 課程電子情報専攻
2018年修了
現職: 東京大学 系研究科原子核科学研究センター

創立 1942年

「理工系」研究力ランキング 全国 33位

AI

EV

キャンパスの広さ 東京ドーム 3.6個分

学生数 学部 732人 大学院 67人

地域共創

卒業生 21,221人

ロボット

留学生 140人 世界 10の国 (別科含む)

再生可能エネルギー

就職率 97.5%

本学在学中の第1種ME技術実力検定試験の合格 11人

本学出身県内社長 68人

ヘルスケア

臨床工学技士合格率 100%

国内企業との共同研究における研究者1人当たりの研究費受入額 全国 24位 860,000円

- ※1 1942年12月22日設立
- ※2 シーサイドキャンパスとグリーンヒルキャンパスの合計面積(170,178.37㎡)
- ※3 2025年5月1日現在(卒業生は累計)
- ※4 令和6年度卒業生(学部)
- ※5 株式会社帝国データバンク「特別企画:長崎県の社長年齢分析(2020年)」
- ※6 2024年度までの累計
- ※7 2024年度の合格率
- ※8 大学ファクトブック2025 (一般社団法人 日本経済団体連合会 経済産業省 文部科学省)

日商アソシエイトマスター

[カリキュラムに日商アソシエイトマスター認定制度を導入]

理工系大学として長い伝統を誇る本学では、AIやデータサイエンスを学ぶための先進的な環境が整っています。1年生向けのカリキュラムには、「情報基礎」「AIリテラシー」「データ解析基礎演習」「データサイエンス概論A」「データサイエンス概論B」があり、これらの科目を履修することで、AI・データサイエンスを学びながら、さらにPC検定3級(日本商工会議所)の受験に必要な「文書作成」「データ活用」「プレゼン資料作成」のスキルを磨くことができます。また、高校生はこれらの科目を先取りして単位を修得し、その学修成果を総合型選抜試験のアピールポイントに活用することで、本学への受験につなげていくことができます。



グリーン・デジタル産業分野教育協議会

[県内外企業28社が参画]

地域企業や産業界と連携し、今後成長が期待される分野で活躍できる人材を育成するための教育カリキュラムと授業計画を策定します。

【企業】
愛三工業(株)、イサハヤ電子(株)、(株)エレナ、NTTアドバンステクノロジ(株)、(株)NTTドコモ、NTTデバイステクノロジ(株)、NTT西日本(株)長崎支店、(株)QTnet、京セラ(株)、協和機電工業(株)、(株)シーエーシー、(株)商船三井、新電元工業(株)、伸和コントロールズ(株)九州事業所、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、大成建設(株)、(株)ディーソール、(株)TMEIC、(株)デンソーテン、長崎トヨペット(株)、ニチコン(株)、NITTOKU(株)、スヴォトンテクノロジー・ジャパン(株)、ブラザー工業(株)、(株)PAL構造、(株)日立製作所、不動技研工業(株)、ローム(株)

<https://nias.ac.jp/news/archives/31170>

環境省公募事業

[長崎市、ドコモ、NXTECと協力]

地域におけるカーボンニュートラルの達成やエネルギー消費の効率化を通じて、学生にエネルギー管理の重要性を伝え、全国規模でのスマートエネルギーを実現するための商品やサービスのモデルケースを構築します。

エネルギー革新が切り拓く、持続可能な未来。

<https://nias.ac.jp/news/archives/31090>

共同研究講座

[海外・県内外企業の4社と開設]

共同研究および共同研究講座を通じて技術者との交流を深め、学生一人ひとりの将来を見据えた、きめ細かなキャリア教育(インターンシップ)を実施します。

理論と実践を融合させたキャリア教育。

【企業】
ニチコン(株)、東部重工業(株)、愛三工業(株)、スヴォトンテクノロジー・ジャパン(株)

<https://www.nias.ac.jp/cigac/>

国際共同研究

[8大学・1機構と国際連携]

CERN(欧州原子核研究機構)に修士課程の学生を派遣し、課題設定から修士論文作成まで一貫して指導を行います。

【連携】
トリノ工科大学(イタリア)、スイス連邦工科大学チューリッヒ(ETH)(スイス)、欧州原子核研究機構(CERN)(スイス)、ハイデルベルグ大学・アーヘン工科大学(ドイツ)、オールドボーン大学(デンマーク)、デルフト工科大学(オランダ)、カリフォルニア工科大学・トロント大学(アメリカ)

https://www.iist.nias.ac.jp/divisionalresearch#section_4&gsc.tab=0



附属高等学校ニュース

High school Information

長崎県高総体
サッカー競技
優勝

決勝 2対0で鎮西学院高校を破り、
3年ぶり6回目の優勝を果たしました。(6月6日)

【芳賀恵斗主将のコメント】

私たちの代は、結果が出ず、新人戦では決勝まで行けたものの負けてしまいました。高総体では、何とんでも優勝しないといけない中、チームが一つになりました。そして、色々な方々のサポートやたくさんの方の応援があったので優勝することができました。

優勝した時こそ、チーム全体を締めなければならないので、もう一度気を引き締めて全国大会に臨みたいと思います。



長崎総合科学大学
附属高等学校校長
下釜 祐保

ご縁に預かり、本年度第13代校長に着任しました下釜と申します。よろしくお願ひ致します。

さて、大学では現在、新学部・新キャンパス設置構想が進められていますが、これと時を違えず附属高校も不易と流行を見極め、更なる旋風を巻き起こすべく勢いを大事にしたいと思ひます。幸ひにも本校の生徒たちの表情は生き生きとして、その瞳は輝いています。今後の附属高校生の活躍にご注目ください。



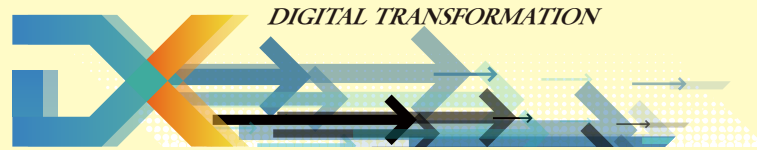
セーリング競技
学校対抗 **優勝**

男子420級
第1位 塩田 到・林 莉央 組

男子シングルハンダー級
第1位 遠藤 優人

文部科学省事業(継続2年目) 未来のデジタル人材育成

DXハイスchool事業継続



昨年度より文部科学省の「DXハイスchool(高等学校DX加速化推進事業)」に採択されており、次世代の学びを实践するために、革新的な取り組みを展開しています。昨年度は「デジタルものづくりラボ」を設置し、3Dプリンター、レーザカッター、3Dスキャナーなどの最先端の技術を活用した創造的な学びの場を提供しました。今年度は、生成AI等を活用した教育とスポーツデータサイエンスの研究に着手します。生成AIの活用では、生徒たちが最前線のテクノロジーを学び、創造的な思考を育むことを目指し、スポーツデータサイエンスでは、データを駆使した分析を通じて、競技力向上や健康管理に役立てることを目標にしています。これらの挑戦を通じて、未来を切り拓く力を育て、社会に貢献できる人材を育成していきます。



2025年度
補助事業

- ①文部科学省「DXハイスchool(高等学校DX加速化推進事業)」
- ②公益財団法人JKA「新世紀未来創造プロジェクト」
- ③独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)「知財力開発校支援事業」
- ④公益財団法人中谷財団「科学教育振興助成【個別校】」

文理ハイブリットコース 「N7WAY」 「N7WAY」とは?

高大一貫教育システム。今までの普通科、工業科、商業科などの枠組みを超え、
予測不可能な時代を見据え、多様性の視点から創造性を構築する次世代型キャリア教育

多様な大学入試制度に対応するため、そして変化に富む現代社会で自立し、自分らしく生きるための力の育成を目標としています。

朝のSHR前の短時間で担当教員が配信した課題に取り組み、学力向上を図ります。運動部の生徒も多く、限られた時間を有効活用しメリハリのある生活を送っています。コース授業では、検定に向けた学習、模試や受験対策としての演習を実施。また大学入試対策、大学進学後の学びにつながる探究を取り入れています。疑問や課題を見つけ、情報を検索し考察を深める。自らの見解や主張を明確にし、他者に正確に伝える。そのような力の育成を目指し、先日「世界の食糧問題に関する『ユース会議』」に提供するランチメニュー」をテーマにプレゼンテーション大会を行いました。



教育

研究

新大学院・新学部構想

長総大は変わる。

大学院強化

新学部設置

新キャンパス

未来創造寄付金

学校法人長崎総合科学大学「未来創造寄付金」

～寄付金のお願い～

長崎総合科学大学10年ビジョンII-2024

(グリーン・デジタル研究拠点の形成)

本学の強みであるグリーン・デジタルの教育・研究機能を活かしたグリーン・デジタル研究拠点の形成を目指した10年ビジョンとして、令和6年3月に策定しました。本ビジョンでは、国の事業であるデジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成(大学・高専機能強化支援事業)にも取り組んでおり、令和9年度には、国からの財政支援により、新学部「先端工学部(仮称)」を開設し、さらに大学院の拡充を目指して、社会が求めるグリーン・デジタルに強い人材育成に取り組んでまいります。

学生生活の経済支援

学びを止めることなく、安心して学業に専念させることができるよう、ご支援をお願いいたします。

10年ビジョンによるキャンパス整備計画による募集

① 新学部(先端工学部(仮称))の開設の記念事業

② 既存施設の再活用に係る支援(体育館等の耐震化など)

未来創造寄付金

<https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/mkifu>

寄付者ご芳名

ご寄付いただきました方々への感謝の意を含め、ご芳名を本学ホームページに掲載させていただきます。

本寄付金の募集につきましては、引き続き皆様の一層のご支援とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

寄付者ご芳名

<https://www.nias.ac.jp/mkifuitiran>

インターネットによるご寄付

インターネットを通じて寄付を行うことができます。また、「寄付申込書」を使用して銀行や郵便局での振込も可能です。皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

【ご寄付の方法】「クレジットカード決済」、「コンビニエンスストア決済」、「インターネットバンキング決済(Pay-easy)」から決済方法をお選びいただけます。

【申し込み方法】ご寄付の決済代行を委託している株式会社エフレジの専用サイトに移動後、利用方法や注意事項をご確認のうえ、手続きをお願いいたします。

【ご注意】クレジットカード決済でお申し込みいただいた際の領収証の日付は、申込日ではなく、寄付金が決済代行会社から本学へ入金された日(お申し込み日の翌月最終営業日)となります。そのため、12月にお申し込みいただいたご寄付は翌年のご寄付として取扱いますので、税の優遇措置の申告を予定されている場合はご留意願います。

「未来創造寄付金」のお申し込み

<https://nias.ac.jp/administration/publicinfo/mkifu#bge-kihuanna>

令和6年度(2024年度)法人の財務状況

令和6年度(2024年度)における財務状況は、本学のホームページでご確認いただけます。

<https://nias.ac.jp/administration/publicinfo/estimate>

寄付のお申し込み・お問い合わせ

長崎総合科学大学 財務班 未来創造寄付金担当

TEL.095-838-5118 FAX.095-839-0584

E-mail mkifu@NiAS.ac.jp

6 JULY 2025 CAMPUS PRESS

JULY 2025 CAMPUS PRESS 5

令和6年度 学位記授与式・ 卒業式・修了式

3月18日、大学院学位記授与式・学部卒業式・別科修了式が本学グリーンヒルキャンパスの体育館にて挙行され、博士課程3名、修士課程9名、工学部91名、総合情報学部62名、別科日本語研修課程22名の卒業生が、将来への夢と希望に胸を膨らませ、それぞれの世界へ向けて巣立ちました。

黒川不二雄学長より学位記、卒業証書、修了証書が授与され、式辞で、「若者は、自分の選んだ道を進み、技術者や研究者、経営者として成功することを夢見るでしょう。しかし、社長になるためには、まず新入社員としての役割をしっかりと果たし、その中で優れた人材が次のステップへと昇進することが重要です。このように、段階を踏んで仕事を極めることが、キャリアの成長に繋がります。ステップを上げることに対する抵抗感がある一方で、上昇することでの自分のやりたいことを選択できる楽しさも存在します。未来には輝かしい可能性が広がっており、夢を実現するためには大志を抱くことが重要です。また、身の丈を超えた野望を持つことで、人生をより豊かに楽しむ選択肢もあります。」と卒業生に言葉を送りました。



令和7年度入学式

4月2日、入学式を本学グリーンヒルキャンパスの体育館にて挙行し、大学院、学部、別科あわせて228名の入学を迎えました。

工学部工学科電気電子工学コースの青野紗寿さんは、入学学部生代表のあいさつで、「これから始まる大学生活には大きな期待と同時に多少の不安もあります。しかし、それぞれの夢や目標の達成に向けて、懸命に取り組んでいきます。一期一会、新しい仲間との出会いを大切に、また、選挙権を持つ一人としての自覚と責任をもって、大学生活を豊かで価値あるものにしていきたいと思っています。そして、これからの社会を担う一人として、社会に貢献する力をつけていきます。」と決意を述べました。



学生自治会代表祝辞
学生自治会執行委員会委員長
岩佐 武さん
(総合情報学部知能情報コース2年)



入学生代表挨拶
大学院生代表 白濱 武琉さん
(工学研究科 修士課程 電子情報学専攻)



学部生代表 青野 紗寿さん
(工学部 電気電子工学コース)



入学生代表宣誓
宮崎 紀花さん
(工学部 建築学コース)



ようこそ長総大へ 新入生歓迎会



4月12日、グリーンヒルキャンパスの体育館で新入生歓迎会を開催しました。新入生歓迎会は、学生自治会執行委員会が主催するイベントで、自治会の学生たちが中心となって企画および運営し、会場には体育会や文化会の部活、サークル、同好会のブースが並び、各団体の紹介や音楽サークルの演奏など、さまざまなパフォーマンスが行われ、豪華な景品が当たる抽選会もありました。



2025年度 NiASプロジェクト始動！

2024 年度 NiAS プロジェクト
活動報告はこちら



「本学の新たな一員として皆さんを歓迎するために、新入生歓迎会を開催するにあたり、「どうすれば新入生に楽しんでもらえるか」を何度も考え、企画や準備に多くの時間をかけました。準備の中では、参加者目線に立つて内容を見直すことや、限られた予算・時間の中で工夫する大切さに気付かされました。当日、新入生の笑顔や楽しそうな姿を見たときは、大きな達成感を感じることができました。これからの大学生活の中で、時に困難に直面することもあると思いますが、どうか一人で抱え込まないでください。私たち学生自治会が皆さんをサポートします。多くのことに挑戦しつつ、自分らしい大学生活を築いてください。」学生自治会執行委員会委員長 岩佐 武さん(総合情報学部総合情報学科知能情報コース2年)

NIAS PROJECT START!

5月28日、本学の121多目的室にて「NiASプロジェクト」のプレゼンテーション審査が行われました。このプロジェクトは、学生から挑戦したい企画や研究を募集し、審査で選ばれたものを大学が支援することで、夢の実現をサポートする取り組みです。選ばれたプロジェクトは、顧問の指導のもとで全国規模の大会に参加したり、「造大祭」で展示発表を行うなどの活動が行われます。

今年度は17チームがエントリーし、そのうち15チームが「NiASプロジェクト」として認定され、大学のサポートを受けて活動を開始します。

2024年度 建築学海外研修 建築学コース

工学部工学科建築学コースでは、近現代建築やまちづくりを学ぶ授業の一環として、約7～10日間にわたり海外の建築物を見学し、建築の幅広さと奥深さを実地で学ぶ「建築学海外研修」を実施しています。

本年度は、9月20日から24日までの5日間、韓国にて田中翔大講師の引率のもと、学生たち(3年生)は昌徳宮、宗廟、水原華城、ミュージアムSAN、フラワーガーデン、ウォーターガーデン、東大門デザインプラザなど、韓国を代表する建築物を訪れ、「建築学海外研修」を実施しました。



1月24日に開催された研修報告会では、「特に採光計画に関して、自然光やガラスの反射を巧みに取り入れた建築の工夫を学ぶことができました。また、曲線を用いた建築や、日本ではなかなか実現が難しい独特なデザインの建物を実際に見ることができ、大変刺激を受けました。これらの体験を通して建築に対する見識を深めることができ、今後の設計においてどのような工夫を凝らすべきかを考える貴重な機会となりました。」と、学生が研修を振り返り報告しました。



5月18日と6月29日、本学グリーンヒルキャンパスにてオープンキャンパスを開催しました。当日は、工学部および総合情報学部のコース学生が来場した高校生や保護者の方々に対し、各コースで学べる専門分野についてポスターを用いて紹介し、質問にも丁寧に対応しました。また、コースイベントとして研究紹介や設備見学、体験プログラムを実施し、多くの方々に参加いただきました。併せて、保護者の皆様を対象に、就職状況や奨学金制度、一人暮らしに関する情報を提供する進学相談会も行いました。当日の運営には多くの学生が関わり、受付業務やオープニングセレモニーの司会、イベント会場への案内など、さまざまな場面で積極的に活躍しました。

2025年度第1回・2回オープンキャンパス開催

施設整備の実施状況

- 本館1階学生オープンスペース:休憩室の移転拡大
- トイレの改修工事:男子トイレ1号館4・5・7階、3号館3階、体育館2階。女子トイレ1号館3階、8号館1階、体育館2階
- 体育館柱脚補強工事、体育館通路改修工事
- 附属高校校舎外壁改修工事、別館16屋根改修工事

サイバー犯罪講義 マネジメント工学コース

5月13日、マネジメント工学コースの1年生から4年生を対象にした「Mプロジェクト(専門科目 総合)」の授業において、長崎県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の警察官による講義が行われました。「Mプロジェクト」は、マネジメント工学コースの工学実践科目として、学生が自らの考えを整理して発信し、これまでに得た知識と技能を活用して実践的なマネジメント工学の知識



を習得する授業です。今回の講義では、『「間バイト」から自分や家族を守るために』というテーマで、間バイトの応募から逮捕されるまでの流れや、その特性、適用される犯罪と刑罰、さらに被害者の声について警察官から詳しく説明を受けました。その後、学生は8つのチームに分かれ、SNSを利用する際の危険性を学び、被害を防ぐための対策についてワークショップを実施しました。

工学部工学科



船舶工学コース



機械工学コース



建築学コース



電気電子工学コース



医療工学コース

総合情報学部総合情報学科



知能情報コース



マネジメント工学コース



生命環境工学コース

別科日本語研修課程



2024年度 企業研究セミナーを開催

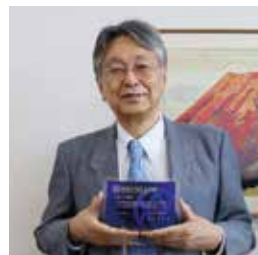
2月14日、平安閣サンブリエール(長崎市)において、企業研究セミナーを開催いたしました。企業セミナーは、3月から始まる本格的な就職活動に先立ち、全国から48社の多様な業種の企業様にご参加いただき、学生に対して業界や企業と触れ合う機会を提供し、セミナーを通じて社会人としての準備を整える機会の提供と就職活動を支援することを目的としています。株式会社マイナビ 就職情報事業本部 大学広報統括部 西日本統括部統括部長の坂田隆氏に『「就活直前講座」～就活スタートについて～』というテーマでご講演いただきました。



01 黒川不二雄学長と廣瀬圭一副学長が「電気学会 フェロー(IEEJ FELLOW)」を授与

1888年に電気學術の調査・研究と広報・普及を目的に創立された電気学会は、電気・電子・情報通信とその関連分野技術の見識に優れ、責任ある立場で長年にわたり指導的役割を果たし、社会および同学会の発展に顕著な貢献をなした会員(正員)総数の3%にフェローの称号を授与しています。

令和6年度電気学会(IEEJ)フェローとして、黒川学長及び廣瀬副学長が認定され、2025年6月2日に開催された電気学会 第113回通常総会においてフェロー認定者が表彰されました。



黒川 不二雄 学長



廣瀬 圭一 副学長

02 教育思想史学会奨励賞を受賞 安道 健太郎 講師(共通教育部門 教職課程)



安道 健太郎 講師

論文名:「アドルノのプロパガンダ研究における社会的啓蒙の構想
——民主的リーダーシップ概念に注目して」
掲載雑誌:『教育学研究』第89巻第4号、2022年12月

教育思想史学会において、共通教育部門の安道健太郎講師が「第21回教育思想史学会奨励賞」を受賞しました。教育思想史学会奨励賞は、今後、教育思想史研究を担っていくことが期待される、比較的研究歴の浅い、将来性と可能性に富んだ研究者に贈られるものです。

03 「医工連携Award」優秀賞を受賞 土居 二人 講師(工学部 医療工学コース)



土居 二人 講師

2025年5月17日～18日にグランキューブ大阪で開催された「第35回日本臨床工学会」において、「第8回医工連携Award」が行われ、土居二人講師が開発した「呼吸器内科医監修新型人工肺」が優秀賞を受賞しました。

【土居二人講師】呼吸器内科医と共に開発した新型人工肺は、感染防止機能を備え、呼吸器回路内への汚染リスクを大幅に低減します。また、在宅や慢性期の人工呼吸器装着患者様が、安心して治療続けられる環境を支えます。「この人工肺があったから、家族と穏やかな時間を過ごせた」そんな言葉が、私たちの開発の原動力です。これからも命と生活に寄り添う医療機器を研究していきます。

04 写真集「中島川水系の景観と橋梁群 1968～2024」輿水 進

輿水進氏は1942年東京生まれ。1966年、高校の修学旅行で訪れた長崎に魅了され、1968年に長崎造船大学建築学科へ進学。岡藤良敬先生の講義を機に中島川流域の旧市街を撮影し始め、以後50年にわたり長崎市街の景観を記録し続けました。2019年に撮影を一区切りとし、2020年から写真の整理を開始。その成果としてプライベート写真集「中島川水系の景観と橋梁群 1968～2024」を出版し、母校・長崎総合科学大学附属図書館に寄贈されました。

このたびは、長年にわたり撮影・記録されてこられた貴重な写真集をご惠贈賜り、誠にありがとうございました。



寄贈

05 愛三工業株式会社と電気自動車(EV)に搭載される高効率電力変換器およびその制御技術の研究開発に関する共同研究講座を開設



本学と愛知県大府市に本社を構える愛三工業株式会社は、カーボンニュートラルの実現に向け、電気自動車(EV)に搭載される高効率電力変換器およびその制御技術の研究開発を目的とした共同研究講座を開設しました。本共同研究講座では、次世代のEV向け電力変換技術に関する最先端の研究を推進し、エネルギー効率の向上と持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

06 ヌヴォトン テクノロジージャパン株式会社と未来のエネルギーを支えるパワーエレクトロニクス制御に関する共同研究講座を開設



本学と京都府長岡京市に本社を構えるヌヴォトン テクノロジージャパン株式会社は、共同研究講座を開設しました。本講座では、世界初のパワーエレクトロニクス制御に特化した研究・人材育成拠点を形成し、高速かつ高性能な次世代プロセッサの開発と関連分野の人材育成を進めます。また、パワーエレクトロニクス機器のデジタル化を促進し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指します。

オープン
イノベーション

ネーミング
ライツ

長崎総合科学大学は、本学内の活性化ならびに事業者と連携する機会を拡大すると共に、本学の教育環境の向上を図ることを目的として、ネーミングライツパートナー制度を導入しました。

この度、学内の審査を経て、株式会社名村造船所がネーミングライツ・パートナーに選出され、2025年4月1日から2027年3月31日まで、本学食堂の愛称が『Kitchen NAMURA(キッチン ナムラ)』となります。また、1号館5階自習室は『NAMURA Study Room(ナムラ スタディールーム)』の愛称で、学生が自由に学習できるスペースになります。

©ネーミングライツパートナー
制度に関するお問い合わせ 長崎総合科学大学 財務部 管財班 Tel.095-838-5114

07 株式会社名村造船所とネーミングライツ・パートナーを締結



08 本学学生と地域住民が伊王島で海岸清掃活動を実施 ～海洋環境保全を意識した地域連携の取り組み～

7月6日、本学学生と伊王島の地域住民が伊王島馬込漁港にて海岸清掃活動を行いました。本活動は、伊王島のNPOおよび西彼南部漁業協同組合の協力のもと、波打ち際で見つかる「海ゴミ」を集めることを通じて、海洋ゴミ問題への理解を促進し、海洋環境保全への意識を深めることを目的としています。

清掃活動では、参加者が海岸の美化に取り組むとともに、海洋ゴミの現状に直面し、その保護の重要性を実感しました。活動を通じて、地域住民と本学学生が共に海洋環境に対する関心を高め、環境保全に向けた意識を共有し、地域に根差した継続的な教育活動となっています。



地域活動

4月19日に長崎市役所の市民利用会議室で行われた研究会において、本学の橋本彼路子教授が「長崎市公営住宅と官学民による活用」について、住宅団地に関するアンケート調査や学生の居住参画・公営高齢者用住宅に関する発表を行いました。また、本学建築学コース4年の住吉大河さんが市営住宅での居住経験について報告しました。さらに、大町清次郎氏(長崎市建築部住宅政策室室長)が「住みよかプロジェクトについて」と題し、住みよかプロジェクトの目的や若い世代に選ばれた魅力の街づくりへの取り組み、地域の担い手づくり、長崎市の現状と人口推移について発表しました。研究会の司会進行は、鹿児島大学の小山雄資准教授が務め、当日は約40名が参加しました。研究会終了後には、旧県営魚の町団地(長崎市魚の町)および市営住宅日見地区(長崎市宿町)の見学も行われました。



研究+見学会長崎市公営住宅と官学民による活用

研究会

研究会

まつお まこと
松尾 真

【所属】附属高等学校事務長

【抱負】生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるよう、先生方と協同して業務に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

のじり あいこ
野尻 愛子

【所属】総務部総務企画班

【抱負】常に笑顔を保ち、速やかな対応を心がけ、日々努力していく所存です。

ながた ひろし
永田 博

【所属】学生支援部学習支援センター

【抱負】学生の皆さん、人生は出会いと挑戦です。興味のあることに挑み、相談も気軽にどうぞ。

なかお みく
中尾 美空

【所属】教育研究支援部入学支援センター

【抱負】先生方や生徒の皆様をサポートし、本学の発展に貢献できるよう精一杯頑張ります。

のぐち ありさ
野口 亜莉沙

【所属】学生支援部留学生センター

【抱負】文化や言語の違いを越えて、心の通う支援を心がけていきますので、どんなことでも遠慮せずご相談ください。どうぞよろしくお願いします。

みやざき こゆき
宮崎 小雪

【所属】総務部改革総合支援班

【抱負】見るもの聞くものすべてが新しく戸惑うことも多々ありますが、一日も早く慣れた皆さんのお役に立てるよう頑張ります！

つちや もりひと
土屋 守人

【所属】総務部次長・設置準備室次長

【抱負】新学部の設置に向けて微力ながら少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

のぐち すみひろ
野口 純弘

【所属】教育研究支援部 部長、キャリアセンター長

【抱負】学生の“より良いキャリアの実現”と本学の発展に貢献したいです。

まつだ かんいち
松田 寛彦

【所属】附属高等学校常勤講師

【抱負】忙しい毎日ですが、1日1日を大切に、生徒が良かったと言える学校生活を送れるよう頑張ります。

さこなか よしとも
窄中 義智

【所属】附属高等学校常勤講師

【抱負】若い生徒たちの徳の可能性を引き出した。

しもがま さちほ
下釜 祐保

【所属】附属高等学校校長

【抱負】次の時代の主役たちからエネルギーをもらい「明るく、楽しく、元気よく」仕事をしていきたいと思っています。

ふかえ かずき
深江 一輝

【所属】総合情報学部知能情報コース 講師

【抱負】卒業後の将来に繋がる研究活動・経験を学生の皆さんと一緒に楽しみながら進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さかい あづみ
坂井 あづみ

【所属】総合情報学部知能情報コース 講師

【抱負】長崎での新生活と理系系から工学系へ大きな環境の変化がありました。学生と共に成長できるよう頑張ります！

たかぎ さとし
高木 智士

【所属】工学部 船舶工学コース 助教

【抱負】何事も全力投球で取り組みます。よろしくお願致します。

ひろせ けいいち
廣瀬 圭一

【所属】副学長(研究)、設置準備室長、オープンイノベーション長

【抱負】人生初の九州生活ですが、大学や長崎・地域に貢献できるよう頑張ります。

新スタッフ紹介